

茨城県支部

地域鉄道と連携した地域活性化の今後のあり方に関する調査研究

(社) 中小企業診断協会茨城県支部では「地域鉄道と連携した地域活性化の今後のあり方」を調査研究事業テーマとして、ひたちなか市那珂湊地区を対象とし調査研究を実施した。

調査実施に際し、ひたちなか商工会議所那珂湊支所、ひたちなか海浜鉄道、おらが湊鉄道応援団、湊本町通り商店街および那珂湊おさかな市場ヤマサ水産（株）、さらに常陸那珂港、茨城県大洗水族館（アクアワールド）を訪問し、多くの情報を入手した。また、那珂湊地区の実地調査を行い、現状を確認した。これらの調査結果から、(社) 中小企業診断協会茨城県支部では「地域鉄道と連携した地域活性化の今後のあり方」について調査結果および提言をまとめた。

ひたちなか市那珂湊地区は、水産業の街として栄え、近年では那珂湊おさかな市場が関東周辺から多くの観光客、買い物客を集めている。一方、従来からの那珂湊地区の商店街は、周辺地域に大型ショッピングセンターが進出したこと、また、近隣住民の高齢化等により売上の伸びが低下し、廃業する店舗が出てきている。また、那珂湊には勝田駅から、ひたちなか海浜鉄道が運行している。ひたちなか海浜鉄道は、乗客数の減少による廃線の危機を乗り越え、近隣住民また観光客の足として利用されている。さらに、那珂湊地区の周辺には大洗、ひたち海浜公園等の観光スポットがあり、年間を通じて多くの観光客を集めている。

これらの状況を踏まえて、那珂湊地区商店街、ひたちなか海浜鉄道および那珂湊おさかな市場の魅力を結集し、地域の発展の方策を提言することを目的として調査を進めた。

調査報告書では、第 1 章の調査概要で、那珂湊の現状および那珂湊おさかな市場調査結果を述べた。

第 2 章では、ひたちなか海浜鉄道の活性化について概況、活性化基本方針、ベースロード需要の確保、観光客需要の拡大、ファン向け施策の充実、市民・行政の支援強化、拡大および鉄道施策のまとめについて記述した。

第 3 章では、那珂湊商店街活性化について、現状分析、成功事例、環境分析に基づく商店街活性化の方向性および地域の観光化（ブランド）化について述べた。

また、第 4 章ではひたちなか海浜鉄道と連携した那珂湊商店街活性化に関する提言を行った。